

みずほ銀行(中国)有限公司

2023 年度グリーン預金募集資金運用状況報告

(参考訳)

みずほ銀行(中国)有限公司(以下、「みずほ銀行」「弊社」と略称)は、2023 年 12 月 31 日までのグリーン年度募集資金運用情報(以下、「報告」と略称)を公表し、記載内容を厳格遵守することを本紙をもって保証する。

一、本報告の作成基礎

グリーン預金の発行と募集資金管理要求を明確するため、弊行はグリーン預金の調達した資金の用途は、中国人民銀行発行の『グリーンボンド適格プロジェクトガイドライン 2021』および中国発展改革委員会発行の『グリーン産業指導ガイドライン 2019』の要求に準拠する。

グリーン預金の管理フローと関係部署職責を明確するため、弊行は国際資本市場協会が公布した『グリーンボンド原則(2021 年版)』を参照して『みずほ銀行グリーン預金管理弁法』を制定し、資金募集の管理と情報開示要求を明確化する。

二、募集資金用途

2023 年、弊行のグリーンファイナンス事業は健全な発展を続ける。2023 年 12 月 31 日まで、弊行はグリーン預金を発行するために用意するグリーン産業プロジェクトへの与信及び投資総額は 48.24 億人民元。うち、グリーンローンが 47 件の 47.64 億元（一般法人向け 31.64 億元/非銀同業向け 16 億元）で、グリーンボンドが 3 件で 0.6 億元を含む。

2023年12月31日まで、みずほ銀行が充当するグリーン与信の産業項目別分布は省エネ・環境保護産業、グリーン・エネルギー産業およびインフラのグリーン化産業であり、分布は下記とおり：

単位：億円

項目別（1級分類）	項目数（個）	流動性貸出残高	固定貸出残高	グリーン与信残高
省エネ・環境保護産業	33	18.98	4.24	23.22
グリーン・エネルギー産業	8	14.72	6.90	21.62
インフラのグリーン化産業	6	2.49	0.31	2.80
合計	47	36.19	11.45	47.64

2023年12月31日まで、みずほ銀行が投資するグリーンボンドが3件、投資先項目は省エネ・環境保護産業となり、グリーン債券の残高は合計0.6億円。

三、プロジェクトの選別基準

グリーン貸出は中国人民銀行発行の『グリーンボンド適格プロジェクトガイドライン 2021』および中国発展改革委員会発行の『グリーン産業指導ガイドライン 2019』に規定された資格基準によって評価と選抜を行う。

グリーン貸出選別の決定プロセスにおいて、当行は認定材料整理、グリーン与信申請、グリーン与信承認と年度定期見直しの4段階に分る。

1. 認定材料の整理：認定基準により、認定材料は以下の二種類に分けられる。
 - ・該当業種単位：取引先の業種がグリーン貸出定義上の対象業種に該当する場合に認定。業種が確認出来るエビデンス要（複合業種を営む場合、売上比率に応じてグリーン貸出残高を算出することから、最新の財務報告などの売上比率データ及びエビデンスが必要とする）。
 - ・該当資金使途単位：貸出資金使途が対象資金使途に該当する場合に認定。資金使途がグリーン貸出に該当することを確認可能な消費エネルギー/有害

物質排出量の削減を証明する第三者機関の評価書、各種評価機関が証明するデータ、プロジェクトの当局承認書類等が必要。

2. グリーン貸出の申請：整理した認定材料に基づき、営業部拠点はグリーン産業プロジェクトに対して初歩的な評価を行い、「業種」と「資金使途」の二種類の基準によってグリーン与信の認定を行い、状況分析と説明を行った上申請を提出する。
3. グリーン与信の承認：中国業務部は提出申請書類に基づき、申請対象がグリーン資格の関連要求合致状況を分析・審査し、適格対象をグリーン与信として承認する。
4. 年度定期見直し：グリーン与信と認定された後、営業部拠点は中国業務部の要求によって、グリーン与信の適用状況を年次見直し実施(業種単位認定先は経営範囲及びグリーン売上比率に調整変更有無を確認)；中国業務部は年度見直し申請をもって審査・承認する。

グリーン債券の選別と認定については、第三者認定評価ありのグリーン債券が適格条件となる。

四、グリーン預金募集資金の管理状況

弊行は『みずほ銀行グリーン預金管理弁法』に基づき、グリーン預金管理用にグリーン預貸管理台帳を設置し、経営管理部がグリーン預金とグリーン使途管理を行い、預貸残高変更を日次モニタリング実施；預金の存続期間中の調達資金が全て適格なグリーン与信に充当されていることを確保する。

募集資金の全額をグリーンプロジェクトに充当させるために、弊行はグリーン預金残高はグリーンプロジェクト投資額の70%以下を募集上限警戒線として運営し、緑色預金残高と緑色プロジェクト投入残高の状況を日次ベースでモニタリング実施。グリーン預金発行枠は流動性枠であるため、グリーン預金の末残は2023年5月12日に最高額の22.97億人民元に達し、グリーン貸出末残に占めるグリーン預金の割合は2023年5月9日に年間ピークの約56.67%を占める。2023年12月31日時点のグリーン預金の末残は19.93億人民元、グリーン貸出末残に占めるグリーン預金末残の割合は約41.32%を占めている。

報告期間内において、日次のグリーン預金募集金額はグリーン与信額の募集上限警戒線を超えたことも無く、遊休資金はありません。

五、情報開示制度と執行

弊行の『みずほ銀行グリーン預金管理弁法』に基づき、グリーン預金の存続期間内に、当行は資金調達使用状況報告を編成し、かつ関係資質と経験を有する独立した第三者機構に委託して資金調達運用状況報告に対して発行後限定保証認証を取得し、情報開示を実施する。

みずほ銀行(中国)有限公司

二〇二四年六月二十四日